

**C-1 指導案**

《しっかりコースの本時の学習》(第一次の1時)

(1) 本時のねらい

- ・ 100をこえる数のものを工夫して数えようとする。(関心・意欲・態度)
- ・ 100をこえる数のものを10や100のまとまりにして数えるよさに気づく。(数学的な考え方)

(2) 評価規準

- ・ 100をこえる数のものを工夫して数えようとしている。(関心・意欲・態度)
- ・ 100をこえる数のものを10や100のまとまりにして数えるよさに気づくことができる。(数学的な考え方)

(3) 展開

学習活動	教師の働きかけと予想される児童の反応	支援(☆)と評価(◇)の工夫
1. 課題をつかむ。	<p>○橋をつくるのに使った棒は、何本かな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ たくさんあるなあ。</li> <li>・ 100よりも多いよ。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">計算棒の数を工夫して数えよう。</div>	<p>☆さし絵や計算棒を示し、数えようとする意欲を高めさせる。</p>
2. 課題を解決する。	<p>○何本あるか数えてみよう。どうやって数えたらいいかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5、10、15・・・と5とびに数える。</li> <li>・ 10のまとまりを作っていく。</li> </ul> <p>○計算棒の数をグループに分かれて数えてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5、10、15と5とびで数えるとはやい。</li> <li>・ 10のたばを作って数える。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 100の束を作って数える。</li> </ul>	<p>☆数え方について自由に話し合わせることにより、10の束を作ればよいことに気づかせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">◇ 100をこえる数のものを工夫して数えようとしている。 (活動の様子)</div> <p>☆計算棒を実際に数える活動を通して、たくさんの数を数える方法を見つけさせる。</p>
3. 学び合う。	<p>○数え方と数えた結果を発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5とびで数えたら、235本になったよ。</li> <li>・ 10の束を作って数えるといいよ。10の束が23個できて、ばらが5本になった。</li> <li>・ 100の束を作ったら数えやすいよ。100の束が2個と、10の束が3個と、ばらが5本になった。</li> </ul> <p>○分かりやすい数え方を見つけよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10や100のまとまりを作って数えるといいよ。二百三十五本ある。</li> </ul>	<p>☆100の束は、10の束を10個集めればよいことを計算棒を使って理解させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">◇ 100をこえる数のものを10や100のまとまりにして数えるよさに気づくことができる。 (発表)</div> <p>☆正しく数えたグループの数え方をもとに、10や100のまとまりを作って数えるよさに気づかせる。</p>
4. ふり返りをする。	<p>○分かったことや気づいたことをまとめよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ たくさんの数は、10や100のまとまりを作ると数えやすいよ。</li> <li>・ 計算棒は、二百三十五本あったよ。</li> </ul> </div>	<p>☆数えた数のよみ方を知らせる。</p>

《チャレンジコースの本時の学習》（第一次の1時）

(1) 本時のねらい

- ・ 100をこえる数のものを工夫して数えようとする。 (関心・意欲・態度)
- ・ 100をこえる数のものを10や100のまとまりにして数えるよさに気づく。 (数学的な考え方)

(2) 評価規準

- ・ 100をこえる数のものを工夫して数えようとしている。 (関心・意欲・態度)
- ・ 100をこえる数のものを10や100のまとまりにして数えるよさに気づくことができる。 (数学的な考え方)

(3) 展開

学習活動	教師の働きかけと予想される児童の反応	支援(☆)と評価(◇)の工夫
1. 課題をつかむ。	<p>○おはじき、計算棒、ペンギンは、どれだけあるかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ たくさんあるなあ。</li> <li>・ 200かな。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     たくさんの数を工夫して数えよう。                 </div>	<p>☆さし絵の計算棒、おはじき、ペンギンの絵を提示し、数えてみたいという気持ちを高めさせる。</p>
2. 課題を解決する。	<p>○数えてみよう。どうやって数えたらいいかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5、10、15・・・と5とびに数える。</li> <li>・ 10のまとまりを作っていく。</li> <li>・ 10ずつ囲めばいいよ。</li> </ul> <p>○グループに分かれて数えてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10ずつ囲もう。</li> <li>・ 10のたばを作って数えよう。</li> <li>・ 10の束がたくさんできたら、100の束を作っていこう。</li> </ul>	<p>☆数え方について自由に話し合わせることにより、10のまとまりを作ればよいことに気づかせる。</p>
3. 学び合う。	<p>○数え方と数えた結果を発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5とびで数えたら235あった。</li> <li>・ 10の束を作って数えたら、10の束が23個できて、ばらが5になった。</li> <li>・ 100の束を作ったら数えやすかった。100の束が2個と、10の束が3個と、ばらが5になった。</li> </ul> <p>○分かりやすい数え方を見つけよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10や100のまとまりを作って数えるといいよ。</li> <li>・ 10のまとまりがたくさんできたら、100のまとまりを作るといいよ。</li> <li>・ 二百三十五あった。</li> </ul>	<p>◇ 100をこえる数のものを工夫して数えようとしている。 (活動の様子)</p> <p>☆計算棒やおはじきなどを実際に数える活動を通して、たくさんの数を工夫して数える方法を見つけさせる。</p>
4. ふり返りをする。	<p>○分かったことや気づいたことをまとめよう。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ たくさんの数は、10や100のまとまりを作ると数えやすいよ。</li> <li>・ 計算棒も、おはじきも、ペンギンも二百三十五だった。</li> </ul> </div>	<p>◇ 100をこえる数のものを10や100のまとまりにして数えるよさに気づくことができる。 (発表)</p> <p>☆正しく数えたグループの発表をもとに、分かりやすい数え方を考えさせる。</p>